

ごあいさつ

皆様には平素より格別のご愛顧を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さてここに、26年度上半期の経営内容について、「2014.09.30 ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、当組合の経営内容、地域での活動内容等について、ご理解を深めていただく資料として、ご高覧賜りますようご案内申し上げます。

七島信用組合は、これからも、地域になくってはならない、地域に必要とされる金融機関を目指し、足を使って、お客さまを訪問し、対話の中から信頼関係を築き上げ、地域でお預かりした資金は、地域にお使いいただき、地域経済の活性化を目指し、役職員一同、努力を積重ねていく所存でございますので、一層のご支援ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成 26 年 10 月

理事長 土井 実

基本方針 島嶼の金融機関として共存共栄を基本理念とします。

経営方針 確実性に徹し堅実な運営を行います。

当組合の概要

(平成26年9月末日現在)

本店所在地	東京都大島町元町4丁目1番3号
設立	昭和32年9月
組合員数	11,235名
出資金	593百万円
店舗数	8店舗
職員数	89名
預金積金	104,044百万円
貸出金	39,718百万円
自己資本比率	14.25%
営業地域	伊豆七島・小笠原 都内23区および周辺23市地域

CONTENTS

■ごあいさつ	1
■基本方針および経営方針	1
■当組合の概要（店舗のご案内）	1
■預金積金の状況	2
■貸出金の状況	2
■貸借対照表	2
■損益計算書	2
■収益の状況	3
■自己資本比率	3
■金融再生法に基づく開示債権の状況	3
■有価証券の時価情報	4
■地域密着型金融	4
■金融円滑化への対応	5
■インフォメーション	5

*掲載金額は、単位未満を切り捨てて表示しているため、表中の合計額と各科目の金額合計が一致しない場合があります。

*残高表示は、残高が全くない場合は「—」を、単位未満の残高がある場合は「0」を表示しております。

店舗のご案内

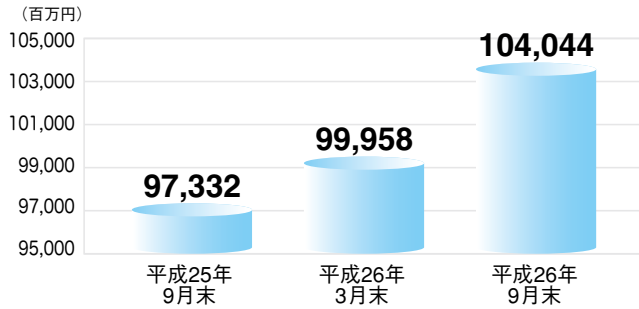
店名	住所	電話番号	ATM台数	ATM 営業時間	
				平日	土・日 祝日
本店	〒100-0101 東京都大島町元町 4-1-3	04992-2-0777	3台	8:30~18:00	9:00~17:00
波浮港出張所	〒100-0211 東京都大島町差木地字クダッチ	04992-4-0666	1台	8:45~18:00	9:00~17:00
新島支店	〒100-0402 東京都新島村本村 6-8-9	04992-5-0661	2台	8:45~18:00	9:00~17:00
神津島支店	〒100-0601 東京都神津島村 1448-5	04992-8-0111	2台	8:45~18:00	9:00~17:00
三宅島支店	〒100-1101 東京都三宅島三宅村神着 239-1	04994-2-0081	2台	8:45~18:00	9:00~17:00
八丈島支店	〒100-1511 東京都八丈島八丈町三根 1929	04996-2-1201	3台	8:30~18:00	9:00~17:00
小笠原支店	〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町	04998-2-7410	2台	8:45~18:00	9:00~17:00
東京支店	〒105-0014 東京都港区芝 3-20-5	03-6436-2761	1台	9:00~18:00	—
本部	〒100-0101 東京都大島町元町 4-1-3	04992-2-1661	—	—	—

預金積金の状況

(単位：百万円)

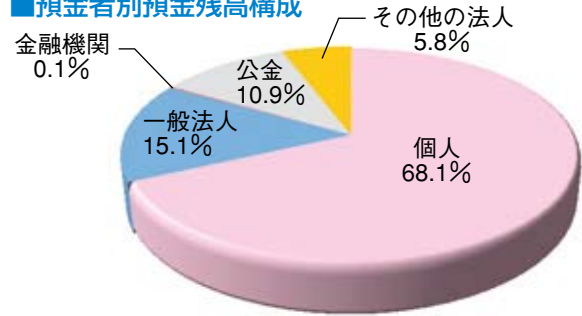
	平成25年 9月末	平成26年 3月末	平成26年 9月末
預金積金残高	97,332	99,958	104,044

■預金積金残高推移



預金積金は地域の皆様からのご信頼を頂き、個人預金・法人預金ともに順調に増加しました。預金積金合計では前年同月対比で6,712百万円増加し、104,044百万円となりました。

■預金者別預金残高構成

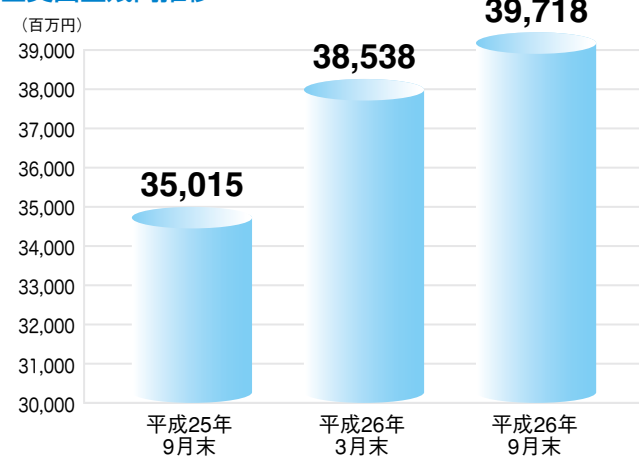


貸出金の状況

(単位：百万円)

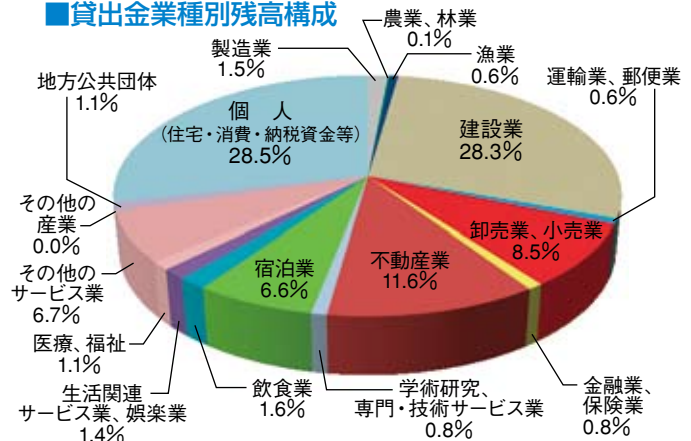
	平成25年 9月末	平成26年 3月末	平成26年 9月末
貸出金残高	35,015	38,538	39,718

■貸出金残高推移



新規融資（創業資金等）への取組みや、経営改善に関するご相談・お手伝いなど、金融仲介機能を発揮し、お客様のご要望にお応えして、地域の活性化に繋がる融資推進活動を行っています。今期の貸出金の状況については、前期末比、「宿泊業」の他、「卸売業、小売業」が増加しております。

■貸出金業種別残高構成



貸借対照表・損益計算書

■貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)			(負債の部)		
科目	平成25年9月期	平成26年9月期	科目	平成25年9月期	平成26年9月期
現金	1,109	1,217	預金積金	97,332	104,044
預け金	54,068	59,165	借入金	-	-
有価証券	13,225	10,378	その他負債	168	217
貸出金	35,015	39,718	代理業務勘定	0	0
その他資産	566	523	賞与引当金	37	50
有形固定資産	1,060	1,018	退職給付引当金	256	238
無形固定資産	5	5	役員退職慰労引当金	29	39
繰延税金資産	116	106	その他の引当金	2	2
債務保証見返	46	39	債務保証	46	39
貸倒引当金	△654	△521	負債の部合計	97,875	104,633
(うち個別貸倒引当金)	(△586)	(△398)	(純資産の部)		
			出資金	568	593
			利益剰余金	5,955	6,242
			組合員勘定計	6,524	6,836
			評価・換算差額等計	160	183
資産の部合計	104,560	111,652	負債及び純資産の部合計	104,560	111,652

■損益計算書

(単位：百万円)

科目	平成25年9月期	平成26年9月期
経常収益	841	783
資金運用収益	668	657
(うち貸出金利息)	(468)	(489)
役員取引等収益	60	61
その他業務収益	92	63
その他経常収益	19	1
経常費用	689	721
資金調達費用	19	19
(うち預金利息)	(19)	(18)
役員取引等費用	38	39
その他業務費用	13	24
経常費用	614	638
その他経常費用	2	0
経常利益	152	61
特別利益	-	-
特別損失	0	0
税引前当期純利益	151	61
法人税・住民税及び事業税	9	12
法人税等調整額	△28	△8
当期純利益	114	40

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

収益の状況

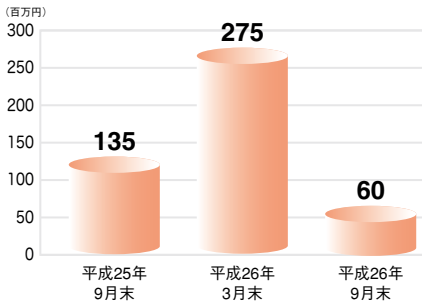
(単位：百万円)

	平成25年 9月末	平成26年 3月末	平成26年 9月末
業務純益	135	275	60
経常利益	152	450	61
当期純利益	114	377	40

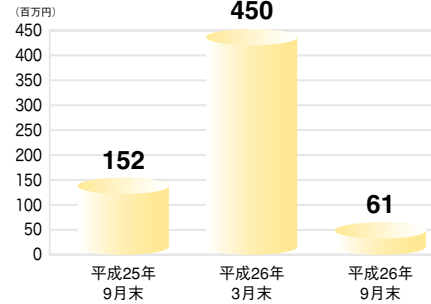
業務収益では貸出金残高が伸長し、貸出金利息は前年同月比で20百万円増加しましたが、市場金利の低下により有価証券、預け金の運用収益が31百万円減少しました。一方、業務費用はお客様の大切な預金をお守りするためにキャッシュカードのIC化を行ったことと、一般貸倒引当金を21百万円計上したこと等から増加し、業務純益は前年同月比74百万円減少し60百万円となりました。

当期純利益は、前年同月比73百万円減少の40百万円となりました。

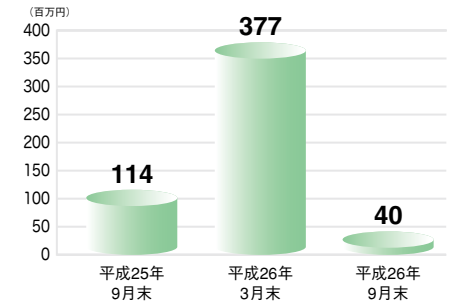
■業務純益の推移



■経常利益の推移



■当期純利益の推移



自己資本比率

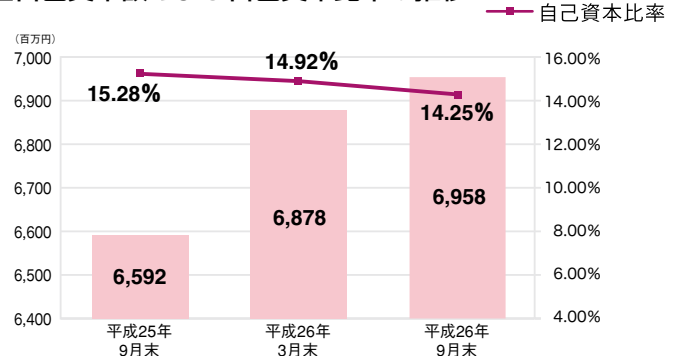
自己資本比率とは、金融機関の健全性を計る重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、出資金や内部留保等の自己資本が占める割合を表しています。平成26年9月期の自己資本比率は14.25%と、自己資本比率規制で求められている国内基準の4%を大きく上回っております。

(単位：百万円、%)

	平成25年 9月末	平成26年 3月末	平成26年 9月末
自己資本額	6,592	6,878	6,958
自己資本比率	15.28%	14.92%	14.25%

※平成25年9月末は、平成24年金融庁告示第56号に基づく特例に従い「その他有価証券の評価差損」を自己資本額から控除しておりませんが、当組合では該当がないため、控除後も自己資本比率は変動しません。また、平成26年3月末からはバーゼルIII(新国内基準)に基づき算出しております。

■自己資本額および自己資本比率の推移



金融再生法に基づく開示債権の状況

(単位：百万円、%)

	平成25年 9月期	平成26年 3月期	平成26年 9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	502	504	509
危険債権	1,837	865	736
要管理債権	1,622	2,919	4,015
不良債権計(A)	3,962	4,289	5,261
正常債権	31,127	34,323	34,524
合計(B)	35,089	38,612	39,785
不良債権比率(A÷B)	11.29%	11.10%	13.22%

(単位：百万円、%)

	平成25年 9月期	平成26年 3月期	平成26年 9月期
保全部額	3,516	3,056	3,298
担保・保証等	2,915	2,605	2,828
貸倒引当金	601	451	470
保全率	88.76%	71.26%	62.68%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00%	100.00%	100.00%
危険債権	98.86%	98.30%	97.69%
要管理債権	73.85%	58.28%	51.53%

小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更正手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

有価証券の時価情報

◎満期保有目的の債券（時価のあるもの）

（単位：百万円）

項 目	〈参考〉平成26年3月末			平成26年9月末			
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	地 方 債	699	705	5	499	501	1
	社 債	759	809	49	660	704	44
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	小 計	1,459	1,515	55	1,159	1,206	46
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—	—
合 計	1,459	1,515	55	1,159	1,206	46	

（注）1. 時価は、当事業年度末における市場価格等に基づいております。 2. 「社債」には、公社公団債・金融債・事業債が含まれます。
3. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。

◎その他有価証券（時価のあるもの）

（単位：百万円）

項 目	〈参考〉平成26年3月末			平成26年9月末			
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	
	債 券	9,930	9,698	231	8,739	8,498	240
	国 債	2,276	2,198	77	2,281	2,198	82
	地 方 債	1,571	1,499	71	1,577	1,499	77
	社 債	6,082	6,000	82	4,880	4,800	80
	そ の 他	253	193	59	401	389	11
	小 計	10,183	9,892	291	9,141	8,888	252
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	
	債 券	—	—	—	—	—	
	国 債	—	—	—	—	—	
	地 方 債	—	—	—	—	—	
	社 債	—	—	—	—	—	
	そ の 他	282	300	△17	—	—	
	小 計	282	300	△17	—	—	
合 計	10,466	10,192	273	9,141	8,888	252	

（注）1. 貸借対照表計上額は当事業年度末における市場価格等に基づいております。 2. 「社債」には、公社公団債・金融債・事業債が含まれます。
3. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。

地域密着型金融

当組合は、地元のお客様からお預かりした大切な預金を、地元で資金を必要とするお客様にご融資し、事業活動や生活のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。特に、下記3つの事項に重点をおき地域密着型金融を実践しております。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経営改善支援、事業再生支援、自己査定ランクアップ、創業・新事業支援等、取引先のライフサイクルに合わせた支援に取り組んでおります。

中小企業に適した資金供給手法の徹底

事業内容、業況や財務内容等を勘案した当組合独自の判断で、不動産担保・経営者保証・第三者保証に過度に依存しない融資に取り組んでおります。

地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

観光活性化に向けての各種イベント企画への関与、地場産品の販路拡大を期待したビジネスマッチング交流会への参加等、積極的に取り組んでおります。

地域経済の活性化

中小企業金融円滑化法に基づく措置の実施状況

① 債務者が中小企業者である場合

(単位:百万円、件)

	平成26年9月末	
	額	数
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	39,213	556
うち、実行に係る貸付債権	36,704	474
うち、謝絶に係る貸付債権	1,022	38
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	1,486	44
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権	1,722	145
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権	115	12

② 債務者が住宅資金借入者である場合

(単位:百万円、件)

	平成26年9月末	
	額	数
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	674	54
うち、実行に係る貸付債権	501	41
うち、謝絶に係る貸付債権	132	10
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	40	3

インフォメーション

■各店で「金融相談会」を開催しております。

ご融資をはじめ、金融に係るご相談やお悩みにお応えするために、4～9月までの間、延べ22回の相談会を開催しております。また、相談会に限らず窓口でも日頃からお相談を伺っております。是非、お気軽にお近くの店舗までお問い合わせください。

■預金のご案内

種類	しくみと特色	期間	お預入預金
ゴールド定期預金	年金受取口座を当組合に指定されている方を対象に、1年もの及び2年ものスーパー定期預金の金利が店頭表示金利に0.1%上乘せされる商品です。	取扱期間 平成27年12月30日まで	500万円以下
相続定期預金	当組合に口座をお持ちの方が、相続手続完了から1年以内に、相続により取得した預貯金等を原資としてお預入れ頂く場合に金利が上乘せされる商品です。	6ヶ月から5年 (取扱期間:平成27年3月30日まで)	相続により取得した金額の範囲内(50万円以上)

この他にも「スーパー積金」や「スーパー定期預金」等をお取扱しております。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。

■各種サービス

種類	サービスの内容	
キャッシュサービス	当組合のキャッシュカード、ローンカードで、当組合の本支店をはじめ、全国の金融機関、ゆうちょ銀行、セブンイレブン等のコンビニエンスストア及びイトーヨーカ堂等でキャッシュサービスをご利用いただけます。(一部の金融機関を除きます。) 詳しい利用時間等については当組合ホームページをご覧ください。 (http://www.shichitou.shinkumi.co.jp/)	
インターネットバンキングサービス (法人・個人)	ご自宅・事務所等のパソコンや、スマートフォンからインターネットを経由して、残高照会やお振込みができます。	詳しい利用時間等については当組合ホームページをご覧ください。 (http://www.shichitou.shinkumi.co.jp/)
	【個人向「インターネットモバイルバンキング」】 ・お取引時における安全性を高めるため、メール通知/パスワードの他に「ワンタイムパスワード」機能がご利用いただけます。是非ご活用願います。	
	【法人向「ビジネスインターネットバンキング」】 ・お取引時における安全性を高めるため、「電子証明書」によるログイン認証をお勧めしております。 【個人向「インターネットモバイルバンキング」・法人向「ビジネスインターネットバンキング」共通】 ・10月1日より不正送金・フィッシング対策ソフト「PhishWallプレミアム」を無料でご提供しております。セキュリティ向上のためご利用ください。	

この他にも各種サービスを行っております。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。

■休日もATMによるご入金をご利用いただけます。

※但し、紙幣のみのお取り扱いとなります。

■犯罪防止対策等、注意喚起

【特殊詐欺】にご注意ください

★振込め詐欺

★「買い物」や「株式購入」「投資信託」等の「インターネット詐欺」など、この他にも悪質な手口が多発しております。また、島しょ地域にも「詐欺」の事例が発生しておりますので、お気を付けください。

■ICキャッシュカードへの切り替えについて

当組合の「磁気ストライプキャッシュカード」をお持ちのお客様で、「ICキャッシュカード」への切り替えがお済みでない方は、安全性の高い「ICキャッシュカード」への切り替えをお願いいたします。